

# 医療と医薬品について もっと知るために

… 医薬品はどうやってできるのか？ どう使うのか？ …

病気の心配や体調が不安なときも、  
正しい知識があれば安心です。  
ご本人や家族、友人もしっかりと  
支えることができます



一般社団法人 医療開発基盤研究所  
©Japanese Institute for Public Engagement

**Ji4pe.tokyo**

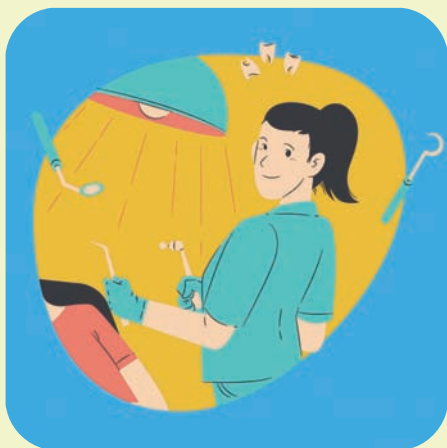
**PharmaTrain**  
MASTERING MEDICINES DEVELOPMENT  
CENTRE OF EXCELLENCE

website : <https://ji4pe.tokyo> \*当法人は、国際的な医薬品開発教育認定機関のNPO法人  
PharmaTrain Federation [<https://www.pharmatrain.eu>]により中核拠点(Centre of Excellence: CoE)に認定されています。

病気を診断された時、診察やお薬の処方、通院や今後のことなどをどこに相談したらよいのか、また、病気で悩んでいる方をどう支えたらよいのか、知らないために不安になることが多いと思います。



- ◎そもそもお薬はどうやってできるのか？
- ◎どうしたらもっと早くお薬が使えるようになるのか？
- ◎主治医とうまくお話できるにはどうしたらよいのか？
- ◎いろんな情報が出回っているけれど、どれを信じたらよいのか？
- ◎同じ病気の患者会がどこにあるのか、何を相談してよいのか？…



(一社)医療開発基盤研究所には、患者や市民の立場で、また企業や大学研究機関の立場で、こうした疑問や不安を解消するためにお互いに学び合う学習コースや、お薬の開発企業に患者の声を直接届ける機会があります。

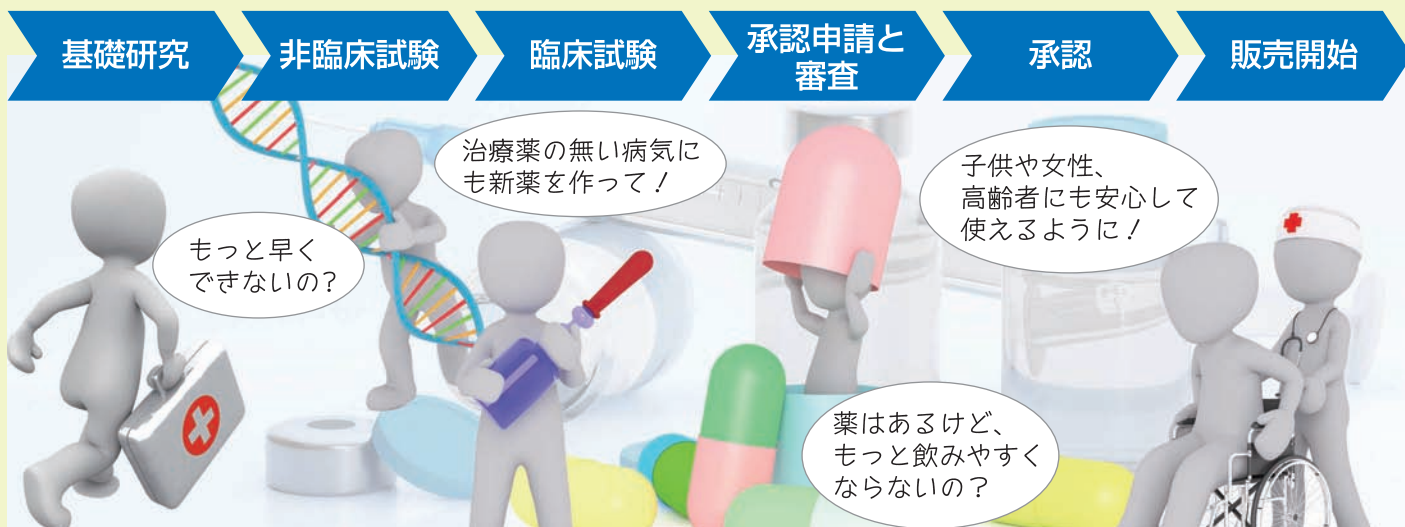
きちんと知ることによって病気と向き合い、支えることができるようになります。



## お薬はどうやってできているのか？

医薬品の研究のスタートから医療機関で処方されるようになるまではとても長い期間(約9年~16年\*)と多大な研究費がかかります。また、新薬の開発成功率は約22,000分の1しかありません。

\*出典：製薬協ガイド2022



患者・市民の声を開発者(製薬企業・研究機関)に届けるために当法人がお手伝いできること

- ◎国際認定の教育で医薬品の開発から販売までのプロセスを学べます
- ◎コースの修了者登録で社会から認知されやすくなります
- ◎患者・家族との交流からの声を効果的に開発者に届けられます



# オンラインで学習できる5つのコース

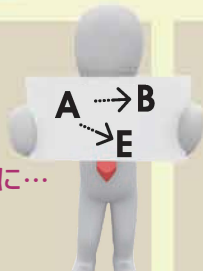


## 誰でも学べる：医薬品と医療について知る学習コース

### A course

患者・市民の学び始めに…

- ◆ 医薬品の開発全般と、販売後の副作用管理について
- ◆ 患者が必要とする開発を進めるために貢献できること
- ◆ 処方された医薬品や診療での情報の利活用について
- ◆ 製薬企業とのコミュニケーションの取り方について、など



### B course

患者会や市民団体の活性化のために…

- メンバーの一人一人がリーダーシップを発揮するためのノウハウ
- ◆ 社会全体のヘルス・リテラシー（健康意識）の向上に向けて
  - ◆ 役に立つツールや書式
  - ◆ 組織的な運営に必要なもの（目標/体制/人材/広報/財務）など

### E course

病院の研究倫理審査委員会の一般委員育成のために…

現在、最も求められている一般委員に必要な知識とコミュニケーション

- ◆ 研究倫理と関連する法規制
- ◆ 臨床試験の基礎知識
- ◆ スピーカー・トレーニング
- ◆ 模擬審査での発言・対応のあり方など

## 開発者（企業・研究者）向け：基礎知識・国際認定開発家のための学習コース

### C course

創薬から承認・販売後に至る基礎知識を学ぶ…

PharmaTrainの国際教育シラバスに沿った通年学習コース

- ◆ 創薬から市販後、医療技術評価までの俯瞰する年間学習
- ◆ 平日夜、年間96講義
- ◆ 業界・学会・当局の講師による講義
- ◆ 最終試験合格者に修了証書発行



### D course

SMD(Specialist in Medicines Development)の国際認定を取得する…

PharmaTrainと国際製薬医学会(IFAPP)による国際認定の開発専門家を育成

- ◆ 職場でのコンピテンシーで判定
- ◆ 知識だけでなく能力・姿勢を重視
- ◆ 第三者による評価で客観性を重視
- ◆ 国際評価委員会による個人認定と証書発行



# 医薬品開発企業向けアクションと患者参画

## 職場トレーニング

患者と共に職場の患者参画意識を改革

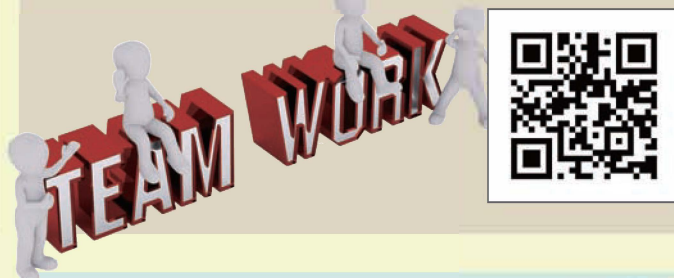
- ◆ 講義とワークショップ
- ◆ グループ討議で問題意識の整理
- ◆ 患者エキスパートも参加
- ◆ 論点整理、アクションプラン策定



## コンサルティング

患者の声を直接聞くインタビューや調査の実施

- ◆ オンデマンドで患者の声を聞く
- ◆ 患者エキスパートによる実践的なアドバイス
- ◆ 患者会との調査研究コラボレーションなど



## 受講者の声

### たくさんの声をご紹介します

#### ◆ Aコース(第6期)

Aさん

"臨床試験について知っていたつもりでも、全体を俯瞰して考えが固定していたことに気づいた"

Kさん

"患者の声を出すには共通言語が必要だとわかった。十分な質問時間で他の患者さんと交流できた"

#### ◆ Eコース(第2期)

Nさん

"豊富な講義やディスカッションで、委員にならなくても人として生きていくうえで力をつけてくれるのでお勧めしたい"

Wさん

"患者会での日々のコミュニケーションに即座に役立った"

Tさん

"審査委員会に患者さんが参加しやすい環境作りが重要だと気付いた"



### 医療マンガ辞典

コロナ禍でワクチンや検査・治療薬への社会的な関心が高まりました。未来を担う子供たちと一緒に考えるマンガで楽しく学びましょう。



一般社団法人 医療開発基盤研究所



SNSもチェック！

<https://www.facebook.com/ji4pe.tokyo>

[https://twitter.com/ji4pe\\_tokyo](https://twitter.com/ji4pe_tokyo)

どちらも「ji4pe」で検索！

お問い合わせはこちら▼

